学校運営協議会委員評価

No.	項目		そう思う	やや思う	肯定的	あまり思わない	思わない	否定的	
1	学校は、児童の学力を伸ばす教育を行っている。	R6	100%		100%			0%	
<u>'</u>	子区は、元重の子のを作は、私目を刊っている。	R5	89%	11%	100%			0%	
									-
No.	項目		そう思う	やや思う	肯定的	あまり思わない	思わない	否定的	
2	学校は、差別やいじめのない学校づくりに取り組んでいる。	R6	100%		100%			0%	
		R5	78%	22%	100%			0%	
									-
No.	項目		そう思う	やや思う	肯定的	あまり思わない	思わない	否定的	
3	学校は、児童の体力をつける取り組みを行っている。	R6	89%	11%	100%			0%	
L	7 人には、プロエンドアンと フェア のつ人 アルロックと ロッ	R5	67%	33%	100%			0%	
				1					-
No.	項目		そう思う	やや思う	肯定的	あまり思わない	思わない	否定的	
4	学校は、保護者や地域の願いに応えた教育活動を行っている。	R6	78%	22%	100%			0%	
_	子り入して、外段日でプラスの別の「これったに大日石助と日」という。		78%	22%	100%			0%	
				,					
No.	項目		そう思う	やや思う	肯定的	あまり思わない	思わない	否定的	
5	 学校は、児童の安全·安心を守る取り組みに配慮している。	R6	100%		100%			0%	
	1 人は、ルー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		89%	11%	100%			0%]
No.	項目		そう思う	やや思う	肯定的	あまり思わない	思わない	否定的	
6	学校だより(シン山びこ)・ホームページ・運営協議会などによって、学		100%		100%			0%	
Ľ	校の様子や学習の内容などを知ることができる。	R5	89%	11%	100%			0%]
				ı					•
No.	項目		そう思う	やや思う	肯定的	あまり思わない	思わない	否定的	
7	本校の教職員は,児童一人ひとりのニーズに応じた支援を行ってい	R6	56%	44%	100%			0%	
	る 。	R5	78%	22%	100%			0%]
No.	項目		そう思う	やや思う	肯定的	あまり思わない	思わない	否定的	わからない
8	本校の児童は、きまりをよく守っている。	R6	67%	33%	100%			0%	
		R5	45%	33%	78%	11%		11%	11%
		1							1
No.	項目	-	そう思う	やや思う	肯定的	あまり思わない	思わない	否定的	わからない
9	本校の児童は、気持ちのよいあいさつをしている。	R6	44%	56%	100%			0%	
		R5	33%	45%	78%	11%		11%	11%
		ı							
No.	項目	-	そう思う	やや思う	肯定的	あまり思わない	思わない	否定的	わからない
10	本校の児童は、やさしく思いやりのある態度が見られる。	R6	56%	44%	100%			0%	
1		R5	67%	11%	78%	11%		11%	11%

□ 自由記述でのご意見

- 1 学習や生活において「分かる」「できる」という楽しさを実 感することが児童にとって大事。何でも質問・発表できる 環境も。
- 2 ・地域の方々の願いが具体的に分からない点があります。
- ・あいさつについては、知っている児童は元気にしてくれます。
 - ・運営委員でありながら十分なことができなくて反省して おります。
- 3 ・少人数のクラスなので何かに特化した勉強や授業が あっても良いのではないかなと思います。
 - ・福井サーキットやその他の行事等含め、子供の為に 色々と考えて下さってありがとうございます。福井小学校 ではとてもいい経験がたくさんできていると思います。
- 4 「山びこ」送っていただき有難うございます。記事から子供 への教職員の熱い思い、楽しい学校生活の様子がうか がえます。
- 5 ・今年度も温かいご支援をいただきたいへん感謝しております。
 - •150周年のコンサート、よい思い出になりました。

□ 考察

〇昨年度より5つの項目で高評価を得ている。学校に足を運ばれる回数は限られていても、行事や『シン山びこ』などから学校の取組とその成果を感じていただいている。

公開や発信を通して守る(開いて守る)効果であると考える。

〇行動として表れる項目(No.7~10)に関しては、肯定的ではあるが、「そう思う」と言い切れない面が強い。その背景としては、児童との直接的な交流の減少が考えられる。コロナ禍を経て、教育内容の精選のもと、間接的な、文字や画像から学ぶことが増えている。DX化もその一端である。また、我々『教職員の姿』はどうであろう。子は親の鏡と言われるが、教師にとっても子は自身の鏡である。教職員が気持ちのよいあいさつをしているか。やさしく思いやりのある行動をしているか。児童に指導した道徳的心情や道徳的価値を体現しようと努めているか。本年度の実践を振り返る指針としたい。

『教育は人なり』という原点からブレることなく、日々の指導に 尽力していきたい。